

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

1 基本方針

調布市社会福祉事業団は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図る。

経営理念・経営方針を全職員が共有し、法人経営の両輪である障害福祉事業及び子育て支援事業に取り組み、地域福祉の推進に努める。

2 法人の現状と課題

米国経済の好調は続いているが、貿易問題をはじめとし、わが国経済は停滞している。中東地域での国際紛争も重なり、不安定化している中で、世界規模に及ぶ異常気象や新型コロナウイルス等の新たな感染症の発生がさらに不透明な状況を加速させている。国では、一段と進む少子高齢化に対応するための施策の推進を図っているが、障害者施策を含め増大する費用の財源をどう確保するかが課題となっている。調布市においても、一般会計予算の2分の1を超える額が充てられ、高齢化社会対策と子育て支援の緊急課題に向けた対策及びまちづくりに関する施策が引き続き推進されている。

当法人においては、障害福祉と子育て支援を事業の両輪として位置づけ、長年培った信頼と技術を活かして地域にとって必要とされる法人となるため、これまでの課題の整理を行い、調布市と協力しながら、第3期及び第4期中長期計画に基づき今後の事業の推進に取り組む。

利用者の健康を守るため、新型コロナウイルスをはじめとした感染症の防止対策に努める。今夏に武蔵野の森総合スポーツプラザ等で予定されている東京2020オリンピック・パラリンピックでは、周辺施設と共同して交通規制や防犯等の安全対策に取り組む。

また、地域における公益的な取り組みへの参加と法人独自の貢献の内容について検討を進める。

サービス提供体制を整えるためには、医療的ケアの拡充も視野に入れながら職員の専門性の向上と人材育成が必要であり、サービスを担う人財の確保も大きな課題となっている。すべての事業が安定的に実施できるよう体制を整える。

3 重点項目

- (1) ゆずのき学童クラブの安定運営に取り組む。
- (2) 第二小学校学童クラブの増設及びユーフォー移転後の安定運営に取り組む。
- (3) しもふだ学童クラブの移転に取り組む。
- (4) (仮称)八雲台ジャンプの開設に取り組む。また、同所にすくらむ本部を併設し管理運営体制の整備を図る。
- (5) 第3・4期中長期計画の推進。
- (6) 新型コロナウイルスをはじめとした感染症の予防対策に取り組む。
- (7) 地震・水害等による大規模災害及びあらゆる事態を想定した防災対策の検討と備えの強化。
- (8) 職員一人ひとりが虐待防止に努め、利用者サービスの向上が図れるよう各施設での実施体制の推進。
- (9) 地域における公益的な取り組みへの参画。